

経営比較分析表（平成30年度決算）

福島県 相馬市

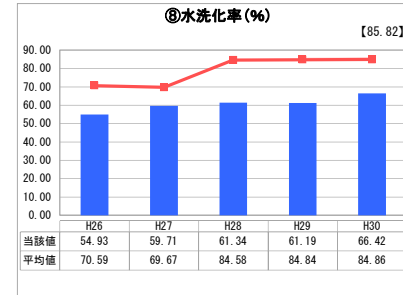
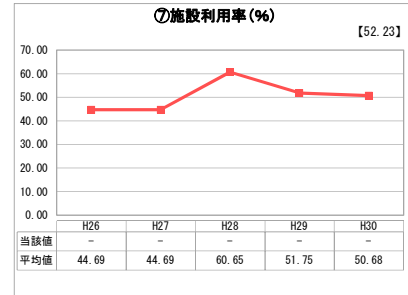
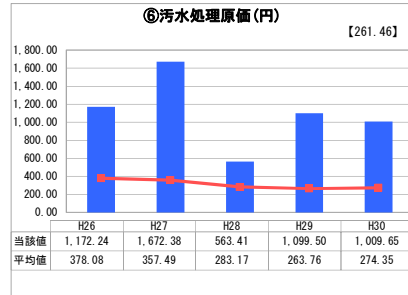
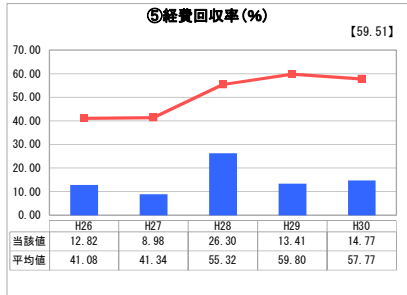
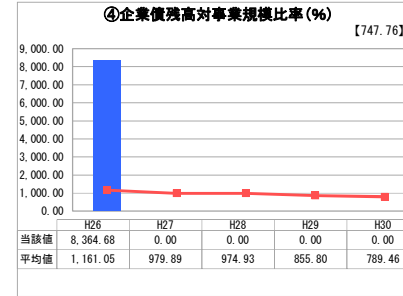
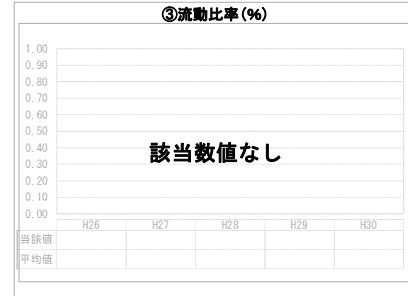
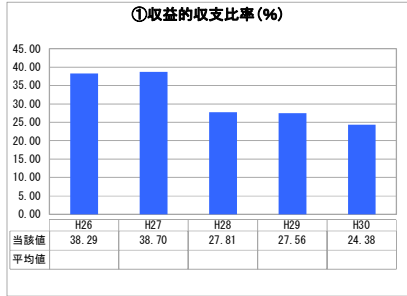
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.77	100.00	2,808

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,322	197.79	178.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
268	1.10	243.64

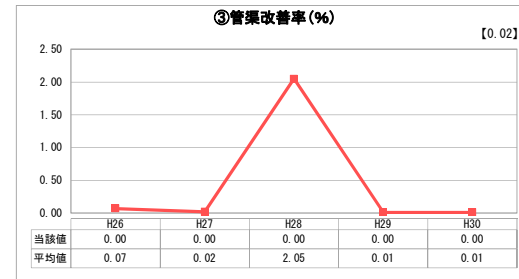
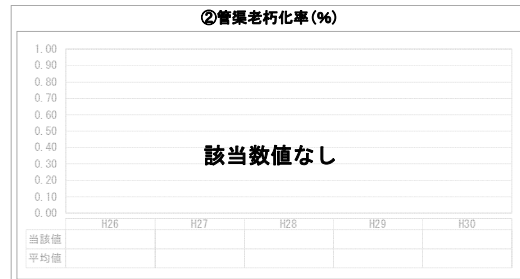
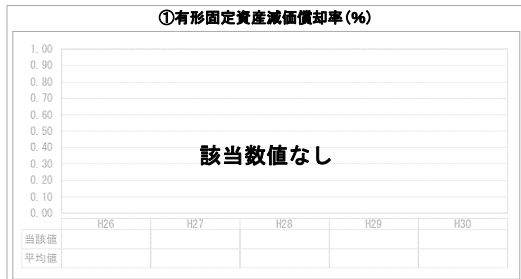
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は前年度並だが、平成23年の東日本大震災の津波被害により、事業規模が縮小したため、毎年、使用料収入では賄えない大部分を一般会計からの繰入金で補っている。
また、修繕や工事の有無等により経営状況が大きく変動している。
企業債残高は年々減少傾向にある。
経費回収率も低いため、使用料で回収すべき費用を使用料で賄えていない状況である。

2. 老朽化の状況について

現時点で老朽化している管渠は無いが、今後は維持管理の財源も検討しなければならない。

全体総括

令和2年度から公営企業会計へ移行することによりより詳しく現状を把握し、使用料や汚泥処理費の適正化を検討し、経営の健全化を進めたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。